

衛生行政報告例の概況

1 精神保健福祉センターにおける相談等

精神保健福祉センターにおける来所による相談延人員は 186 人となっている。主な相談内容別にみると、「心の健康づくり」が 41 人 (22.0%) と最も多く、次いで「ギャンブル」34 人 (18.3%)、「思春期」34 人 (18.3%) となっている。電話による相談を受けた延人員は 7,460 人、電子メールによる相談を受けた延人員は 351 人となっている。

2 栄養

給食施設数は、前年より 15 施設減少し、934 施設となっている。

3 衛生検査

衛生薬業センター及び環境センターにおける検査件数は 27,833 件で、依頼によるものが 15,084 件、依頼によらないものが 12,749 件となっている。

依頼経路別では、保健所以外の行政機関からの依頼によるものが 13,127 件と最も多く、そのなかでは、環境・公害関係検査が 12,507 件と最も多い。依頼によらないものでは、放射能測定が 11,888 件と最も多くなっている。

4 不妊手術

不妊手術件数は 58 件で、前年と比較すると 6 件減少している。

5 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶件数は 727 件、前年と比較して件数は 87 件減少し、実施率 (15 歳以上 49 歳以下女子人口千対) は 5.1% で、前年より 0.5 ポイント下回っている。

人工妊娠中絶実施率は、平成 13 年度から 28 年度まで低下し続け、平成 29 年度には一旦上昇したものの、平成 30 年度からは再び低下へ転じている。令和 5 年度には再度上昇したが、令和 6 年度に低下している。

図 1 衛生検査状況 令和 6 年度 佐賀県

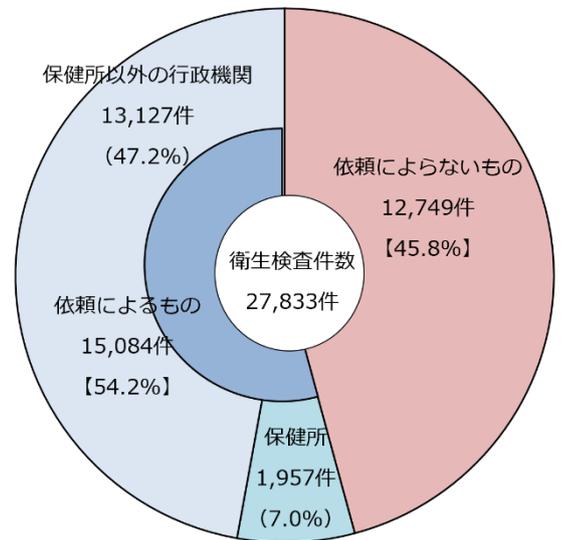
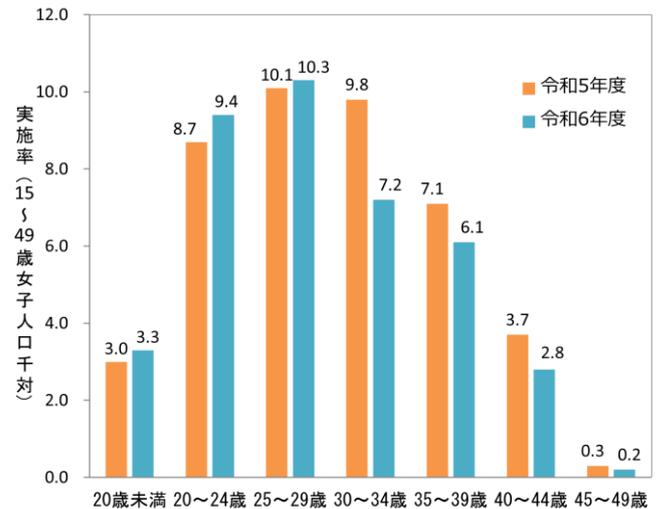


図 2 年齢階級別人工妊娠中絶実施率 佐賀県



6 就業保健師・助産師・看護師・准看護師の年次推移

令和6年末現在の就業保健師は595人で前回（令和4年）に比べ43人（7.8%）増加している。

就業助産師は239人で、前回に比べ6人（2.4%）減少している。

就業看護師は、11,793人（男1,544人、女10,249人）で、前回に比べ27人（0.2%）増加している。

就業准看護師は3,573人（男410人、女3,163人）で、前回に比べ428人（10.7%）減少している。